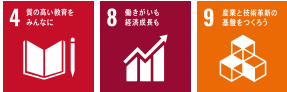


要請番号 (JL04525A19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G202 電子工学	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

モンゴル国立生命科学大学ダルハンオール県分校

3) 任地 (ダルハンオール県ダルハン) JICA事務所の所在地 (ウランバートル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

国立生命科学大学は首都ウランバートル市に本校があるほか、ダルハンオール県とバヤンホンゴル県に分校がある。配属先はそのダルハンオール県の分校で1969年に設立。アグロエコロジービジネス学部、植物農業研究所、科学博物館等から構成されており、学士、修士、博士の課程がある。総職員数は約200名で、うち教員数は約90名、学生数は約700名(学士約600名)で、年間予算は約1.2億円。過去3名の隊員(経営管理、観光、経済・市場調査)を受入れた経験がある。その他、KOICA、米国ピースコーからのボランティアを受入れた経験もある。配属先からは本件のほか日本語教育、機械工学の協力隊要請も提出されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では、モンゴルで不足している技術者を若い年代から育成し、今後の産業分野の発展に寄与する人材の輩出を目的として、2023年から日本の高専機構と連携した高専プログラムを実施している。ITエンジニア、機械工学、電子工学、環境工学の各専門教科コースのほか、一般科目として日本語のクラスもあり、配属先への入学希望者は多い。しかしながら、現状、授業の質の確保が十分にできていないと配属先も認識しており、協力隊を受入れて、学生の専門的知識と技能習得を促進する効果的な指導内容・指導方法に関するサポートを得られることを期待している。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 電子工学の授業のサポート
 - 実習及び研修へのサポート
 - 学習意欲を高めるカリキュラム・指導法に対するアイデアの提供と実施に向けたサポート
 - 日本の高等専門学校の管理運営、技術指導等の紹介
- ※教師3名が週計5コマ(1コマ90分)ずつを担当している。
※担当するクラスや授業コマ数は赴任後、配属先と隊員間で話し合い決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教員室、教室、デスク、椅子、プリンター、共用キャビネット

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(50代、博士、男性、教育分野における経験27年)
カウンターパート:教師3名(40代～50代、男性2名、女性1名、教育分野における経験18年～22年)
活動対象者:高専電子工学プログラム学生 約30名

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（高等専門学校卒） 備考：高等教育機関での活動

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・学校等での指導経験があるとよい
- ・電子工学系の業務/企業経験があると尚よい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（-30～30℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

- ・11月から3月にかけて、平均気温は氷点下となり寒さが厳しい
- ・配属先からは本件のほか日本語教育、機械工学の隊員要請も提出されており、派遣のタイミングによっては同時期に活動することとなる。